

報 廣 しばた

5 since 1961
2014
MAY
No. 631

鮮やかに咲き誇り
人々を魅了する花々。
やすらぎの花空間にきてみませんか

場所：船岡城址公園山頂 コミュニティガーデン 花の丘 柴田



はじめよう！ 健康づくり

毎日を生き生きと暮らすために



介護予防教室

問 健康推進課 TEL 55-2160
FAX 55-4172

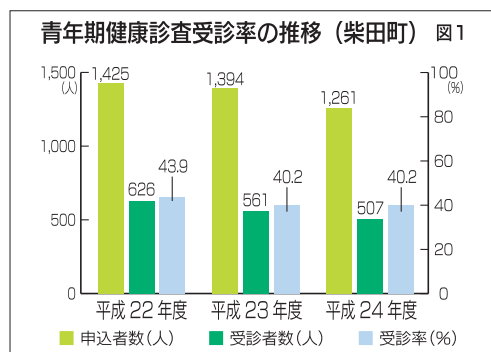
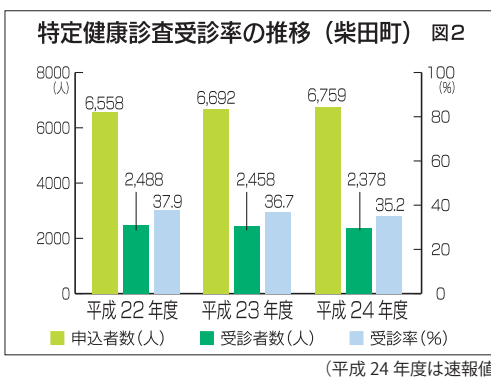
いつまでも元気で生き生きと暮らすためには、何よりも健康であることが大切です。「健康づくり」に今できることから取り組みましょう。

町では、「健やかで、心豊かに生活できる「元気なまち」を基本理念とする計画「第2期健康しばた21」を策定し取り組んでいます。

町の現状

健診（検診）は、生活習慣病などの早期発見や予防につながる大切な機会です。しかし、19歳から39歳を対象とした青年期健康診査、40歳から74歳を対象とした特定健康診査の受診率は、低迷したままの状態が続いています。（図1・図2）

町が重点施策に掲げる糖尿病関係については、19歳から39歳の若い世代で受診者の約2割が肥満者で、糖尿病の判定値となるヘモグロビンA1cの有所見者となつています。また、40歳から74歳の受診者の、約6割がヘモグロビンA1cの有所見者となっています（表1）。



ヘモグロビンA1c有所見者および肥満者 表1

	ヘモグロビンA1c 有所見者 (NGSP値5.6%以上)	肥満者 (BMI25以上)
青年期 健康診査	96人 (18.9%)	101人 (19.9%)
特定健康 診査	1,383人 (58.2%)	617人 (25.9%)

※数値は、平成24年度の各健康診査の値。
※NGSP値とは、ヘモグロビンA1c値を算出するための国際基準値。(平成24年度までは、JDS値)

健康寿命の延伸と生活の質の向上を基本方針とする「健康しばた21」の取り組み

- (1) 生活習慣病の発症予防と重症化予防
生活習慣病などの疾病を未然に防ぐため、生活習慣の改善に取り組み、合併症の発症や症状の進行を防ぐための対策を進めます。
- (2) 生涯にわたる健康づくりと、町民主体、町民協働の展開
町民一人ひとりが主体的に行う健康づくりの取り組みを支援し、町民と協働して健康づくりを進めます。
- (3) 健康を支え、守るための社会環境の整備
社会全体で個人の健康を支え守る社会環境の整備を進めます。



しばた健康づくりポイントカード



① 出前講座「はじめましょう介護予防教室」
③ 四季の里山を楽しむ「里山ハイキング」

② 健康講話や軽運動などを行う「豊齢者教室」
④ 「いきいきお茶っこ会」での健康講話

健康づくりポイント対象事業 (平成 26 年 4 月 1 日現在)

担当	対象事業	担当	対象事業		
健康	青年期健康診査	生涯学習センター	豊齢者教室		
	特定健康診査		お茶飲まねすか		
	後期高齢者健康診査		シルバーダンス教室		
	基本健康診査		里山ハイキング		
	成人歯科健康診査		地域デビュー団塊世代の生きがい探し教室		
	胃がん検診		団塊世代の元気塾		
	子宮がん検診		いきいき教室		
	大腸がん検診		フォークダンスを楽しもう		
	前立腺がん検診		豊齢者教室		
	結核・肺がん検診				
	推進		肝炎ウイルス検診	スポーツ振興室	水中トレーニング教室
			乳がん検診		体力づくり教室
			骨粗しょう症検診		体力・運動能力調査
いきいきお茶っこ会		町民ラジオ体操・みんなの体操の集い			
ぼっちゃり改善くらぶ		第3回行政区対抗玉入れ大会			
出前講座・健康教育		第17回町民グラウンド・ゴルフ大会			
こころの健康サポーター養成講座		第34回町民ゲートボール大会			
生活習慣病予防運動教室		第52回町民ビニールボール大会			
健康まつり		第42回町民ソフトボール大会			
献血		第11回町民バドミントン大会			
福祉	介護予防の運動教室	第39回町民ラージボール卓球大会			
	介護予防の口腔機能向上教室	第2回町民ベタンク大会			
	元気はつらつお達者day				
	出前講座・はじめましょう介護予防教室				
	自立者支援通所事業「春風」				
介護予防推進大会					

20歳以上の町民の方が、町が実施する健診(検診)を受けた時や、健康に関するイベントなどに参加した時に、ポイントを差し上げます。

健康づくりポイント事業に参加して、健康づくりに取り組みましょう。

対象の事業に参加すると、1健康ポイントを差し上げます。10健康ポイントで、柴田スタンプ会の商品券(500円分)と交換できます。

健康づくりでポイントを貯めよう!

健康づくりポイント事業がスタートしました。

申し込みからポイントの交換まで

- 健康づくりポイント事業参加申込書を提出しましょう。
※申込書は健康推進課、福祉課、生涯学習課、槻木事務所、各生涯学習センター、スポーツ振興室、各公民館、農村環境改善センターにあります。
- ポイントカードが郵送で届きます。
- 対象事業に参加して、健康ポイントを貯めましょう。
※教室や講座など数回にわたって実施される事業は、毎回、1健康ポイントがもらえます。
- 健康ポイントが10ポイント貯まったら、健康ポイント交換申請書を提出しましょう。
※申請書は、健康推進課と槻木事務所にあります。貯まったポイントカードも一緒に提出してください。提出先は、健康推進課または槻木事務所です。
- 柴田スタンプ会の商品券(500円分)が郵送で届きます。



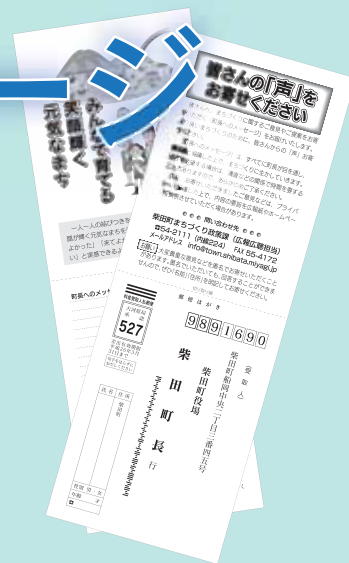
みなさんからいただいた「声」

町長へのメッセージ

についてお答えします

町民のみなさんに、より良いまちづくりのため、「町長へのメッセージ」(はがき)を昨年の広報しばた4月号と11月号でお届けし、ご意見やご提案を募りました。

いただいたメッセージの一部をご紹介します。



大住公園を 魅力ある公園に

大住公園は、遊具がとも古く、数も少ない。花壇やベンチも少ないので、魅力ある公園にしてほしい。

回答 大住公園は、昭和60年(28年前)に、大住地区の団地を造成した区画整理組合が整備し、町に帰属した公園です。公園整備計画段階から地元の要望で、

ゲートボールが出来るような遊具の配置を出来るだけ少なくし、広い多目的なスペースを多く設けているのです。

今後は、子どもたちから高齢者まで利用したくなるような公園になるよう、地元行政区と話し合う機会を設け、魅力ある公園整備を進めます。しかし、西住地区については、下水道事業による雨水整備計画が進められており、その整備計画の状況次第では、公園の利

用の仕方などが大きく変わってきますので、広報紙やお知らせ版などを通じ情報提供していきます。



大住公園内の遊具と多目的スペース

学校給食のアレルギー対策について

小学校へ入学する子どもに食物アレルギーがあります。町はアレルギー対応食というの、考えていないのでしょうか。

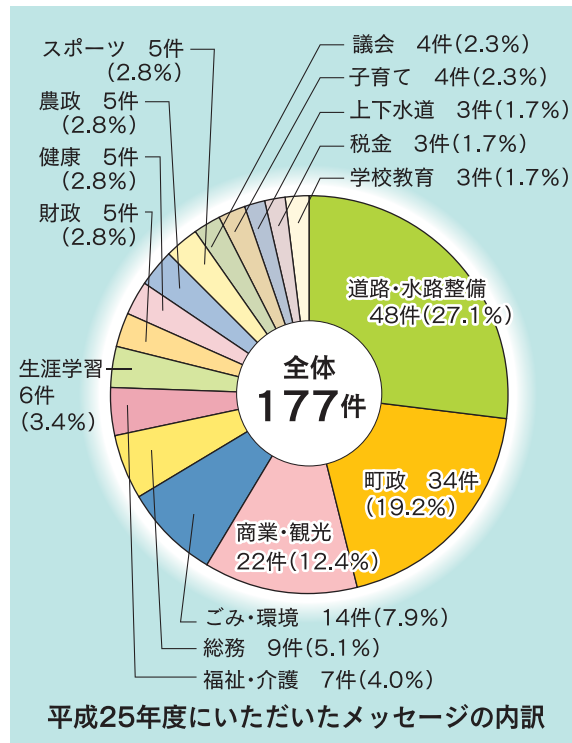
回答 現在の学校給食センターは昭和56年に使用を

開始した共同調理施設で、

アレルギー対応の専用調理室を確保できないことから、アレルギーへの対応は新しい給食センターの建て替えに合わせて実施したいと考えています。食物アレルギーが心配なお子さんへの対応には、提供する原材料を表示した詳細な献立表をご要望があった保護者へ提供し、保護者と児童生徒が献立表を確認して、アレルギーが心配されるものを自分で取り除いて給食を食べるか、または昼食を家庭から持参していただいています。



昭和56年に開設した給食センター



街灯の整備について

船岡大橋から自衛隊に向かう道路や、中曽根・新田地区の道路の街灯が少なく、暗いように感じるので、改善をお願いします。

回答

一般的に街灯は、大きく分けて「街路灯」と「防犯灯」があります。

街路灯は、交通量の多い幹線道路（地区と地区を結び道路網の骨格をなす重要な道路）や交差点、商店街などに設置しているものです。

防犯灯は、歩行者などの安全を守るために生活道路（幹線道路以外で主にその地区の方が通る道路）を中心に電柱や専用の鋼管ポールに取り付けています。現在、町内には防犯灯が3,000以上あり、電気代などの維持管理費の軽減のために防犯灯のLED化に取り組んでいます。昨年度は、LEDの防犯灯の新設や既存防犯灯のLED化を合わせて200灯以上実施しました。今年度以降も、

防犯灯は、歩行者などの安全を守るために生活道路（幹線道路以外で主にその地区の方が通る道路）を中心に電柱や専用の鋼管ポールに取り付けています。現在、町内には防犯灯が3,000以上あり、電気代などの維持管理費の軽減のために防犯灯のLED化に取り組んでいます。昨年度は、LEDの防犯灯の新設や既存防犯灯のLED化を合わせて200灯以上実施しました。今年度以降も、



LEDの防犯灯

子どもたちの通学路や学校、公共施設の周辺を優先に、順次LED化を実施していきます。

柴田大橋から自衛隊方面への街路灯の設置については、この道路は、県が管理する県道（角田柴田線）となっております。商店周辺は店の照明などにより明るい状況ですが、それ以外の部分は暗いところもありますので、早急に県道を所管している大河原土木事務所に要望していきます。

新田地区や中曽根地区の暗いと思われる幹線道路については、行政区の防犯灯整備計画をもとに協議し設置していきます。

待機児童の解消について

町の待機児童が多いということは、とても残念です。今後の町・日本を背負っていくのは子どもたちです。町として、将来的に待機児童解消のための取り組みをどのようにしていくのか具体的に教えてください。

回答

現在、町内には3保育所と4幼稚園（平成26年度は5幼稚園）があり、4歳以上の児童の保育や教育ニーズは、ほぼ満たされている状況となっています。一方、待機児童の大部分を占める3歳未満の児童については、保育所、認可外保育所、保育ママなどでの対応となっておりますが、施設の面積基準や職員の配置基準により入所児童が限られる状況です。

平成27年4月から国の政策として、幼児期の学校教育・保育や地域の子ども・子育て支援を総合的に推進

するため、「子ども・子育て支援新制度」が始まります。町では、今後、アンケート調査を実施し、町民のみならず、子育てサービスのご要望を的確にとらえ、子ども・子育て支援事業計画を策定していきます。待機児童の解消に向けて、①幼稚園・保育所・認定こども園などの教育・保育サービスの検討、②3歳児未満を対象とする「小規模保育」や「家庭的保育」などの地域型保育給付の創設、③時間外（延長）保育や一時預かり事業などの「子ども・子育て支援事業」などを検討し、子育て支援環境の充実・整備を計画的に進めていきます。



船岡保育所の園児たち

注）平成25年11月現在

空高く泳ぐこいのぼり。日本の伝統行事が次々と消えていく中であって、子どもこの日のこの光景を見ると心がなごみます。

いつの時代でも、「子どもが健やかに育つて欲しい」というのはみんなの願いです。

しかし、現実にはおぞましいイジメや虐待、体罰、不登校、子どもの貧困など、子どもたちを巡る環境は悪化するばかりです。

なぜ、このようになってしまったのか。その一つに、人と人のかかわりが家族や地域社会の中で希薄化したからにほかなりません。「お互い様」「おすそわけ」「おもてなし」といった日本人の美德が失われ、社会の中に他人を包み込む抱擁力がなくなってきたことが挙げられます。

子どもの健やかな成長を支える基盤を私たち大人が崩してきたことが、こうした深刻な問題を引き起こす誘因になっていると思っています。

国は、このような教育現場を改革しようとして、教育委員会制度を見直し、首

教育改革とは

長が直接教育に係われる仕組みや教育再生実行会議では、現在の「6・3・3制」から地域の判断で、「4・4・4制」に変える検討を行っていません。時代の変化に合わせて、不都合な制度や硬直化した組織を改革していくことは当然なことです。しかし、これまでの改革を見ると制度や組織いじりに終始し、根本的な問題まで踏み込んでいないのが常でした。

現在の柴田町の学校教育において、町と教育委員会との関係や「6・3・3制」に特に支障が生じているとは思っておりません。まず、子どもたちのために改革すべきは、人を差別したり、格差を助長する社会です。面倒だからとPTA役員になり手がいない、子ども会育成会に子供を参加させないといった最近の風潮も拭いなければなりません。

子どもたちが一生懸命勉強し、自分の能力を開花させ、社会のために自分の力を発揮したいと前向きに考えられるような社会を用意してあげることが、本当の意味での教育改革ではないかと思えます。

始まっています。
新しいスポーツのかたち

総合型 地域スポーツクラブ 設立に向けて

問 設立準備委員会(スポーツ振興室内)
TEL 55-2030

みなさんは、「総合型地域スポーツクラブ」をご存知でしょうか。文部科学省が進める新しい形のスポーツへの取り組みです。

総合型地域スポーツクラブの目指すものは、従来のチームづくりのためのクラブではなく、豊かなスポーツライフ創造のためのクラブで、競技力向上はもちろん、交流志向が含まれた地

域のコミュニティとしてのクラブです。

- ①～⑤の考えを取り入れた多くのスポーツクラブでは、「いつでも」「どこでも」「だれでも」をキャッチフレーズに掲げ、スポーツを気軽に生活の中に取り込めるよう活動しています。



町においても、従来推進してきた競技スポーツ(スポーツ少年団含)のみならず、町民のみなさんで考え、参加できるスポーツクラブの設立を考えています。今後は、多くのおみなさんに総合型地域スポーツクラブを知っていただくためのイベントなどを開催していく予定です。

総合型地域スポーツクラブとは

- ① 複数の種目を楽しめる。
- ② 地域のおみなさんが集い、個人のレベルに応じた活動できる。
- ③ 定期的・継続的にスポーツ活動を行うことができる。
- ④ 質の高い指導を受けることができる。
- ⑤ 文化的活動も行える。



公式ブログ

「食」をたのしみ“こころ”と“からだ”を育てよう



おいしい通信

シリーズ 1

問 健康推進課 TEL 55-2160
FAX 55-4172



毎日の食事は、私たちの体を元気にしてくれます。
また、家族や仲間との食事は、食べる楽しみを与えてくれます。生きていくうえで欠かせない大切な「食」を考えてみましょう。
今回のテーマは「食育」です。

なぜ「食育」が大切なのでしょうか？

朝食の欠食や一人での食事、栄養の偏り、「食」の安全の問題、「食」の海外への依存など、食生活が乱れてきています。このような現状に対応するため、健全な食生活を身につける「食育」が大切です。

こんなことから「食育」を始めてみましょう。

①家族や友達と一緒に食事をしよう！
(家族団らん、共食)



②地域の食材を食事に取り入れよう！
(地産地消)



③食品表示、ラベルを見て買い物しよう！
(食の安全・安心、食品の選択)



④農作物を育て、収穫しよう！
(栽培体験・食体験)



「食育」って何だろう？

「食育」は、「食」に関する様々な体験を通して、食事の楽しさや大切さを知り、心も体も健康に生活できる「食べる力」を持つ人を育てることです。

食に関するすべての経験が、「食育」です。楽しみながら実践しましょう。

町の食育の取り組みを紹介します。

にこここマンマ離乳食



お子さんにとっての離乳食は、食べ物の「味」や「かたさ」を知る、初めての経験です。「食事」の楽しさを知り、離乳食を順調に食べていけるように、各月齢のポイントなどを栄養士がお話した後、試食をする体験型の離乳食教室「にこここマンマ離乳食」を実施しています。

お母さんが安心して離乳食を与えられるよう開催している教室ですので、気軽に参加してください。
※開催日は、広報お知らせ版に随時掲載します。

広 告

まちかど NEWS

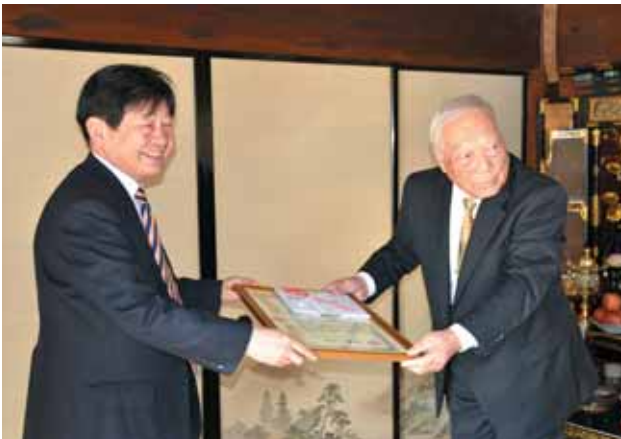


草花を育てることが好きな瀧口さん。

いっまでもお元気で 長寿のお祝い

NEWS

3月1日(土)、中名生宮前の荒井志よさんが、29日(土)に船岡東4丁目の瀧口さだよさんが、それぞれ満100歳を迎えられました。荒井さんは、お孫さんや近所の方とお話しをすることが何よりの楽しみだそうです。瀧口さんは、編み物が得意で、衣服などを手作りしているそうです。お2人とも食べるのが好きで「好き嫌いをしないで、3食しっかり食べること」が健康の秘訣と話されました。



孫9人、ひ孫8人いらっしゃる荒井さん。
(記念品などを受け取る、荒井さんのご家族)

感性豊かに育む 「第二たんぽぽ幼稚園」開園

NEWS

幼児教育の民営化を図るため、柴田児童館が今年度から「学校法人柴田学園第二たんぽぽ幼稚園」としてスタートしました。4月11日(金)に行われた開園式では、伊藤誠園長が「学習の中心は遊びであり、心身ともにのびのびと、感性豊かな子どもに育てていきたい」と教育方針を述べました。また、この開園を機に、新たに園歌が作られ「タンタンタンポポ」と明るいまろメロディーの歌が披露されました。



新しく38人の園児が入園。
緊張しながら園長の話を聞く園児たち。

広 告

広 告



セレモニー後に行われたフットサル教室では、子どもたちが広場を元気に駆け回りました。

みんなで作った公園が完成

NEWS

一般公募で集まった住民のアイデアがまとった「船岡新栄5号公園」が完成し、4月5日(土)にセレモニーが行われました。この公園の広さは約3,000㎡で、滑り台などの遊具が設置された多目的の広場に、県内初のフットサルができる運動広場が併設されているのが特徴です。

近所に住んでいる河内柚季ちゃんは「綺麗な公園にいっぱい遊びに来たいです。」と嬉しそうな笑顔を見せてくれました。

花いっぱいのまちに

NEWS

3月29日(土)、「花と緑の町づくり支援事業」の一環として、平成25年中に町内に家を新築された25人に、キンモクセイの苗木とゼラニウムが配布されました。この事業は、「ひとりひとりの手で花香る緑豊かな柴田町を作りましょう」をスローガンに、平成14年から実施されているものです。四日市場に在住の安齋智久さんは「さっそく庭に植えたいと思います。綺麗な花が咲いてほしいです。」と話してくれました。



船迫みどりの少年団も配布をお手伝いしてくれました。



土手や川沿いの草むらから色々なごみを回収した白石川河川敷。

綺麗なまちでおもてなし

NEWS

しばた桜まつり期間中、県内外から訪れる多くの観光客のみなさんに、桜並木を気持ちよく歩いていただくため、3月29日(土)、各団体と町民のみなさん、約600人が「おもてなしクリーン大作戦」と題して、会場となる船岡城址公園と白石川河川敷の清掃活動を行いました。参加した平間寿子さんと小杉治子さんは「今年もみんなでおもてなしを盛り上げます。素晴らしい桜を、ぜひ見てほしいです。」と桜の開花を心待ちにしていました。

広告

広告

こうほう 文芸

俳句

八方に若葉あふるる母の里
 楓木 永井 堯
 ひと影に鯉の寄りくる水の春
 下名生 笠松ふみ子
 万作の花びら踊る青い空
 西船迫 玉手みき子
 雪折れの杉の白さにキブシ垂れ
 西船迫 安ヶ平奈津枝
 清らかな心に薫る桜道
 船岡 安藤 節子
 雨を斬る燕の向こうマリの傘
 大槻 信吉
 鶯の恋の相手の見つからず
 小野 憲彦
 隠沼を二分するかに蛇泳ぐ
 江戸 裕子
 風薫るキラリと光る電波塔
 上遠野 三恵
 鳥鳴いて伽藍に夏の萌しかな
 鎌形 清司
 早苗田や旅へ誘ふ雲の形
 鈴木 三山
 握る手に余力ありけり窓若葉
 鈴木 清子
 新しい土を探しにつばくらめ
 鈴木 幸子
 郭公や遠い記憶の山ばかり
 相馬カツオ
 青しぐれ大地しづかに廻りだす
 石母田星人
 おもてなし雪の蔵王と千本桜
 西船迫 渡辺 晴奈

川柳

老いた母昔話に花が咲く
 船岡 阿部美代子
 増税後財布の紐も硬くなり
 船岡 伊藤タイ子
 ついにきた介護保険証そつと見る
 西船迫 安ヶ平良三
 満ち満ちて春爛漫の散歩道
 楓木 つきのき町子
 若者よ地域活動たくましく
 楓木 加藤 利通
 忘れてはならぬ捻にまた突かれ
 船岡 幕田 昇
 強風に乗って北上花便り
 船岡 菅原 三男
 春の風やさしく頬を撫でて行く
 船岡 小野寺一彩
 花見酒風に吹かれて千鳥足
 船岡 佐藤 春市
 認知症卒寿の歳月うたた夢
 船岡 長尾 純子
 春の土忘れずにつこり落のトウ
 船岡 早坂 洋子
 税金を使って渡る天下り
 四日市場 坂本 一風
 貧しさに慣れれば何も不足無い
 四日市場 齋藤夢太郎

短歌

屯して黄色脱皮のランドセル孫の顔もちよつと大人に
 本船迫 森田 眞六
 花盛りかくれんぼする子等の声楽しさだけの世界そこにあり
 船岡 沢田 順子
 花は去り館山静寂に夜想曲シヨパンのピアノ心で奏で
 船岡 菲神 葛
 春を撮る腕前上げた後輩に春の訪れいつになるやら
 船岡 千 舞



はなみちゃんからの フラワーレター

今月の船岡城址公園は新緑に包まれ、ツツジやシャクナゲなどの花木が楽しめます。



八重桜



シャクナゲ
 (山頂付近)



宿根アマ
 (コミュニティガーデン花の丘柴田)



ツツジ「ハルイチバン」
 (旧勤労青少年ホーム脇)

広告



夢空間 2014



女王の番犬 (ペンネーム)

smile kids

お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、お子さんの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

はなちゃん (ペンネーム)



ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こうほう文芸)、とてもすてきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間2014)、お子さんの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで5月9日(金)までご応募ください。 ※お名前や作品の読み方を記載してください。 ■連絡先/まちづくり政策課 ☎54-2111

こども美術館



「虫の夜」



東船岡小学校3年

藤井 蓮さん



「海のそこのお話」



東船岡小学校3年

伊藤 藍さん

広 告

広 告

広報 **しばた** 有料広告募集中!

「広報しばた」に掲載する広告を募集します。お店や会社のPRなど、暮らしに役立つ広告をお待ちしています。掲載料金などの詳しい内容については、お問い合わせください。

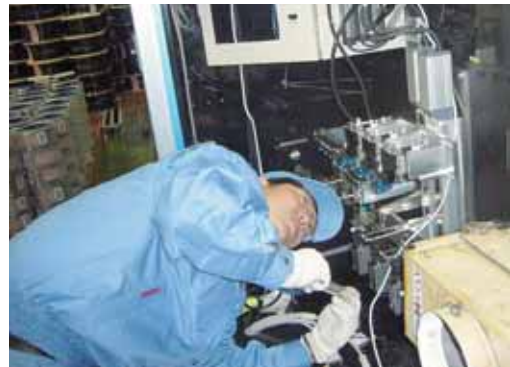
☎まちづくり政策課 ☎54-2111

広 告

思いを胸に

『インフラを支えるものだから、より良い製品を提供したい』

町内で働く若い世代の方の思いや夢などを紹介するコーナーです。



自分で設計した部品の組立作業を行う久米田さん。

昭和電線ビジネスソリューション株式会社
生産技術部 仙台製造技術課

久米田 崇晴さん(26)
くめた たかはる

送電や情報通信には欠かせないさまざまな「ケーブル」を製造している昭和電線ケーブルシステム株式会社で、生産活動、技術開発等をサポートするグループ会社の生産技術業務に携わる久米田崇晴さんを紹介します。

久米田さんは、今年で入社5年目になります。父親が電気系エンジニアということもあり、大学で機械工学を専攻し、エンジニアへの道を目指しました。「現在は、エンジニアとしての業務と光ケーブル

や同軸ケーブルなどの製造設備の導入・メンテナンス業務に携わっています。」と言う久米田さんに、一番大変だった出来事は? と質問すると、「東日本大震災の時は、本場に大変でした。ケーブルの製造設備は、水平に固定することで高品質のケーブルを製造することが出来ます。震災時は床がゆがんでしまい、設備の芯出しの修正・調整をすることが必要となりました。設備の復旧のため、関係部署の課長さんたちが何度も話し合いをし、先輩たちが力を合わせて最善の復旧をする姿を見て、会社では組織や社員同士の連携が大切だと感じました。」と答えてくれました。

「情報通信の主要なインフラである光ケーブルを製造しているのは、仙台事業所だけです。よりお客様に満足頂ける光ケーブルを日本国内や海外に提供していきたいですね。製造ラインを支える立場としては、製造設備の故障時間を短くして、稼働率を高めていきたいと思っています。先輩たちを見習って、不具合を事前に

防ぐ技術を身につけていくことが、より品質のよい製品の提供に結びつくと思います。」と意欲に溢れる久米田さん。プライベートでは、最近、購入した車で休日ドライブを楽しんでいるそうです。

昭和電線のケーブルは、久米田さんのような意欲にあふれた若者とともに、今後も進化を遂げていくことでしょう。

昭和電線ケーブルシステム株式会社



柴田町大字船岡字鍋倉1番地
TEL 52-6111

平成18年に設立。総合電線メーカーとして、電力・ガス・水道などのライフライン、通信・建物・道路・鉄道、さらには行政・医療・教育といった社会インフラに製品を提供する

人口と世帯数
(平成26年4月1日現在)

38,395人
(前月比137人減)

19,052人
(前月比90人減)

19,343人
(前月比47人減)

15,028世帯
(前月比35世帯減)

※平成24年7月9日の住民基本台帳法の改正に伴い、外国人を含む人口と世帯数となります。